

貿易指数の作成と応用： 貿易構造の変化と国際比較

野田容助・黒子正人 編

2010 年 3 月

独立行政法人日本貿易振興機構

アジア経済研究所

もくじ

序章 貿易指数の作成と応用に向けた諸課題

.....野田容助・黒子正人・吉野久生 1

はじめに

1. 貿易指数の作成と応用におけるこれまでの成果
2. 貿易データの利用と整合性の評価
3. 貿易指数の作成と評価
4. 貿易構造の変化と技術選択

おわりに

第1章 商品分類における対応関係のグループ化と連結：

貿易データの商品分類を変換するための方法として野田容助 17

はじめに

1. 分類の対応関係に基づくグループ化の方法
2. 一般的な対応関係のグループ化
3. グループ化された対応関係の連結
4. 貿易データにおけるHS2007からio76への変換

おわりに

第2章 Comtradeと国際貿易の実証研究..... 熊倉正修 49

はじめに

1. HSの品目改訂とComtrade
2. 加工統計を利用する際の留意点
3. 産業内貿易指数による実例

おわりに

第3章 貿易統計における単価指数と物価指数の関係について 木下宗七 71

はじめに

1. 単価指数と物価指数
2. 両指数の比較に関するこれまでの研究
3. 年次データによる両指数の比較 (1) アメリカとドイツのケース
4. 年次データによる両指数の比較 (2) 韓国と台湾のケース

おわりに

統計付録

第4章 中国貿易統計による単価指数の作成：

詳細商品分類による影響 黒子正人 89

はじめに

1. 中国貿易統計の特徴
2. 商品分類の桁数による単価変化率の相違
3. 商品分類の桁数による単価指数の相違

おわりに

第5章 標準化貿易額指数の算出と応用 熊谷 聡 119

はじめに

1. 標準化貿易額指数 (STVI) の算出
2. STVI の応用

おわりに

第6章 韓国における実質為替レートと非貿易財の相対価格 三尾寿幸 139

はじめに

1. 実質為替レートの要因分解とバラッサ＝サミュエルソン効果
2. 韓国における実質為替レートの要因分解 (1973～2007年)
3. 韓国における商品輸出、貿易財産業における産業別の輸出比率及び
産業別の価格変化

おわりに

第7章 貿易構造の変化とRCA指数および技術選択.....吉野久生 153

はじめに

1. 世界経済情勢と貿易構造の変化
2. 技術選択
3. RCAの逆転

おわりに

第8章 国際貿易構造の違いと生産性の推移：**EUにおけるサービス業の事例研究.....弦間正彦 175**

はじめに

1. 分析の枠組み
2. 分析結果

おわりに

付表

執筆者紹介

木下宗七 (KINOSHITA Soshichi)	梶山女学園大学理事 名古屋大学名誉教授
熊谷聡 (KUMAGAI Satoru)	アジア経済研究所 新領域研究センター 経済統合研究グループ
熊倉正修 (KUMAKURA Masanaga)	大阪市立大学大学院経済学研究科准教授
黒子正人 (KUROKO Masato)	アジア経済研究所 開発研究センター マクロ経済分析グループ
弦間正彦 (GEMMA Masahiko)	早稲田大学社会科学総合学術院教授
野田容助 (NODA Yosuke)	アジア経済研究所 開発研究センター マクロ経済分析グループ
三尾寿幸 (MITSUO Hisayuki)	アジア経済研究所 開発研究センター 国際経済研究グループ
吉野久生 (YOSHINO Hisao)	アジア経済研究所 開発研究センター 国際経済研究グループ

(五十音順)